

令和3年 河川功労者表彰受賞団体

おしま こうく じち きょうぎ かい 小島校区自治協議会(熊本市)

【くまもと マイ・リバーサポート協定期間】平成21年10月～現在

活動内容

熊本市西部を流れる坪井川つばいがわにおいて、平成21年から、地元の川を綺麗にするとの趣旨で、「坪井川クリーン作戦」を実施しています。地元の住民や小・中学生など、100名を超える参加者とともに、4月と11月の年2回、約1Kmにわたり河川敷のごみ拾いや除草などを行っています。

活動の効果

多くの参加者が河川の美化活動に取り組むことで、子供たちや地域住民の自然や環境への関心が高まるなど、地域の河川愛護活動に貢献されています。

活動の様子を紹介



河川敷の清掃活動



空きビンや流木など様々なごみを回収



活動に参加された皆さん

・・・ Interview

受賞団体へインタビュー！

・・・



かわた たくあき 会長
妻 富子さんご夫妻

Q どんな活動を行われていますか。

地域住民の方々のほか、小島地区の各種団体、漁業・農区関係者、民生委員・児童委員協議会の方々、小島小学校の児童の皆さんなどに参加いただき、坪井川の清掃等を行っています。

Q いつごろから活動されていますか。活動を始めたきっかけはなんですか。

平成20年度より取り組まれてきた「環境保全活動」を受け継ぎ、今日の自治協議会の事業として活動を行っています。

近状において大規模災害が相次いで発生している原因の一つは、気候変動による環境の負担ではないかと思えます。そこで、一人ひとりが意識して環境問題に取り組まなければとの思いで、地域皆で協力し、地域の環境保全向上のため続けていきたいと思っています。

Q この活動の特色や、力を入れているポイントを教えてください。

私たちは、「小さいことから環境破壊は起こる」と考えていて、「自分たちの手でできることは自分たちでやる」という意識で、美化活動に取り組んでいます。

また、普段から、ごみを川に投げ込んだりしないよう呼びかけています。

しかし、川は上流から下流、海へとつながっています。ペットボトルやプラごみの多くは、上流から海まで流れ下り、漁業にも影響をもたらします。そのことをぜひ多くの人に知ってもらいたいです。

Q よかったことや、大変だったことなど、感じたことを教えてください。

汗を流して美化活動に取り組むことで、「地域がきれいになった」と実感でき、気持ちがいいです。

地域の多くの方々が参加することで、普段から町内を自主的に掃除するようになるなど、地域全体の美化意識が高まっていると感じています。忙しい中でも積極的に活動に参加してくださる地域の皆さんに感謝しています。

Q 坪井川や、小島地域の魅力を教えてください。

小島地域は、古くは百貫港ひゃっかんこうの港町として栄えました。坪井川のすぐ近くには、熊本で初めて明治天皇が宿泊された小島行在所あんざいがあり、また、大正時代には熊本初の電車が開通するなど、由緒がある地域です。

住民の皆さんも、歴史への興味と愛着が深い地域です。多くの人に小島地域の魅力を知っていただきたいです。

Information

この他にも、多くの団体や個人が、河川美化活動に取り組まれています。県では、『くまもと マイ・リバー・サポート事業』を実施し、地域の方々による河川美化活動への様々な支援を行っています。